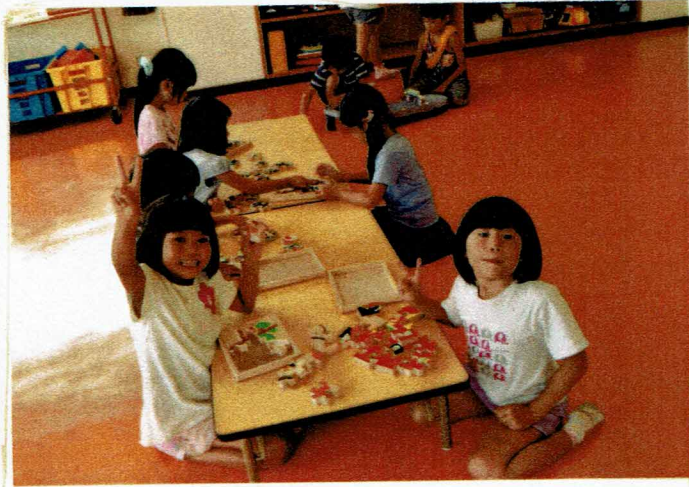


# 環境教育「まず、今できることから」

## 歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会  
編集者：代表幹事 高橋 賢一  
連絡先：市民活動支援センター  
尾張旭市渋川町三丁目5番地7  
(渋川福祉センター内)  
TEL 0561-51-2878



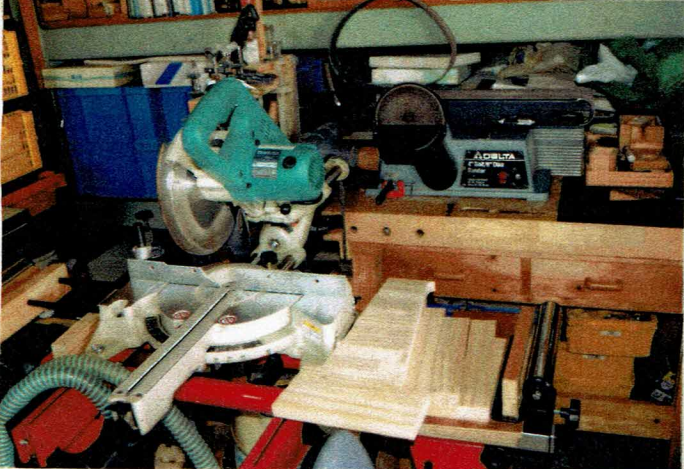
歴史を振り返ると、  
昔から木を使った  
道具や家具が多く  
あり、木は私たちの  
生活に欠かせない  
存在です。また、  
木は自然の恵みで  
あり、環境保護の  
観点からも大切に  
する必要があります。

**木育が  
目指す  
未来。**  
本誌「環境保全  
委員会」出席の  
子供達はよく  
頑張ってく  
くれました。ハッ  
と木を上げました。  
ありがとうございます。  
ありがとうございます。



現在、森林とその恵み  
から学ぶ木育は、子供  
への愛着を呼び覚まし  
木を使う人の文化や伝統  
に教育

活動のこぼれ  
溢れ、人達に  
かた。木育は  
子供達が  
育ち、自然  
を感じる  
体験する  
こと。木は  
世に今  
ある資源  
であり、  
大切さを  
教える  
ことも  
必要です。  
持続可能  
な社会を



築く活動に結び付くと思えます。



この紙から  
方向性として  
「木育内閣会  
議」を開催  
したいと思っ  
た。木育キヤ  
ン隊でおもろ  
い専門隊保  
育、森林関係  
者への参加は  
る交換会を  
開く。木育に  
関する全  
国大会も検討  
中。また、木  
育の普及を  
図ることも  
必要です。木  
育の普及を  
図ることも  
必要です。



子ども環境保全委員会の挨拶。  
完成品を見ている子供達。  
本誌「環境保全委員会」の挨拶。

